

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**警告**

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的にした防護柵や、歩行補助を目的にした手すりとして使用する場合には事故につながるおそれがあります。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工手順は、「Gフレーム 取付説明書（E248）G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

<施工上のご注意>

注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 給湯機や暖房機等の熱排気が製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

1. 施工の前の重要確認事項 ※施工時には下記の事項を厳守してください。

1-1 フリースクリーン枠取付け面材について

表1-1 取付面材表

汎用形材	平板 (肉厚1.2以上のもの)
	平板 リアル木調

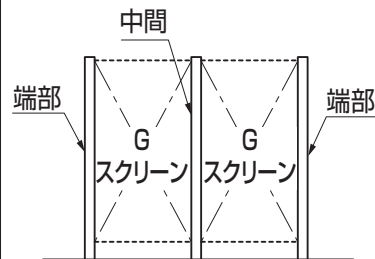
ポイント

- 本取付説明書で使用する面材は上記表1-1の部材取付けの場合です。その他の面材を調達・取付けを行なう場合は十分に取付け方法及び強度を現場確認の上取付けを行なってください。
- 表1-1以外の汎用形材でも肉厚1.2以下のものは取付けができますが、小断面のものを使用する場合は、中柱又は横棧の数を増やしてください。

1-2 柱の確認

表1-2 ○…使用可能 ●…補強材・躯体付けが必要 ×…不可

		90角柱			150角柱		サブ柱			ファンクション柱
		H24	H29	H35	H24	H29	H23(※2)	H24	H29	H24
W10	H16・ H24	端部	○	○	○	○	○	○	○	△(※1)
	中間	○	●	○	○	○	○	○	○	×
W20	H16	端部	○	○	○	○	○	○	○	×
		中間	●	●	○	○	○	●	○	×
	H24	端部	○	●	○	○	○	○	○	×
		中間	●	●	○	○	○	●	○	×

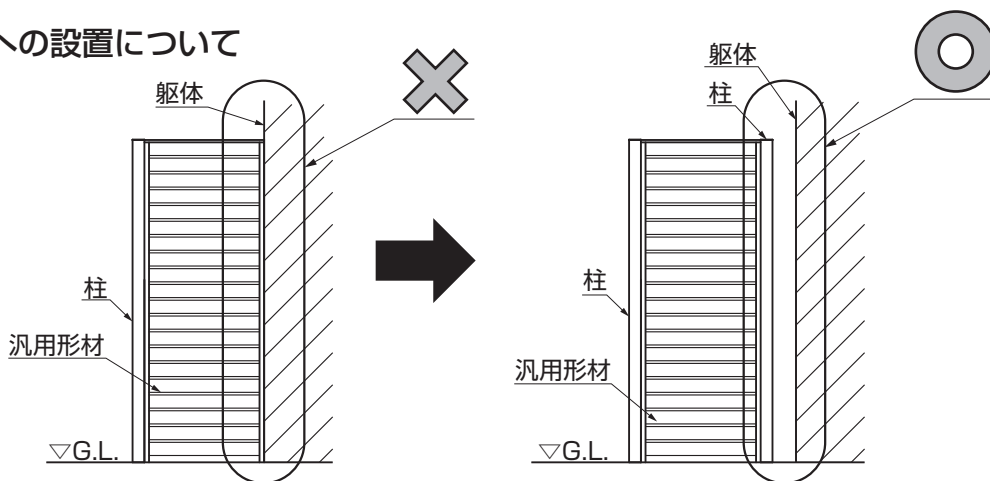


ポイント

- 上記表1-2にしたがって柱・サブ柱・ファンクション柱の施工を行なってください。
- W20横張りの取付け高さはH2450以下にしてください。
- 柱・サブ柱の取付けは「Gフレーム取付説明書(E248)」を参照してください。
- ※1のファンクション柱の取付けは「Gフレーム ファンクション柱取付説明書(A451)」を参照してください。
- ※2のサブ柱H23へ縦枠H24を取付けの場合、縦枠は150mmの切詰めが必要です。
- H35柱へのGスクリーン取付けの場合、高さH2905以上への取付けはできません。

1-3 フリースクリーン枠の施工について ※図はW10 H24の場合を示します。

(1) 住宅壁際への設置について

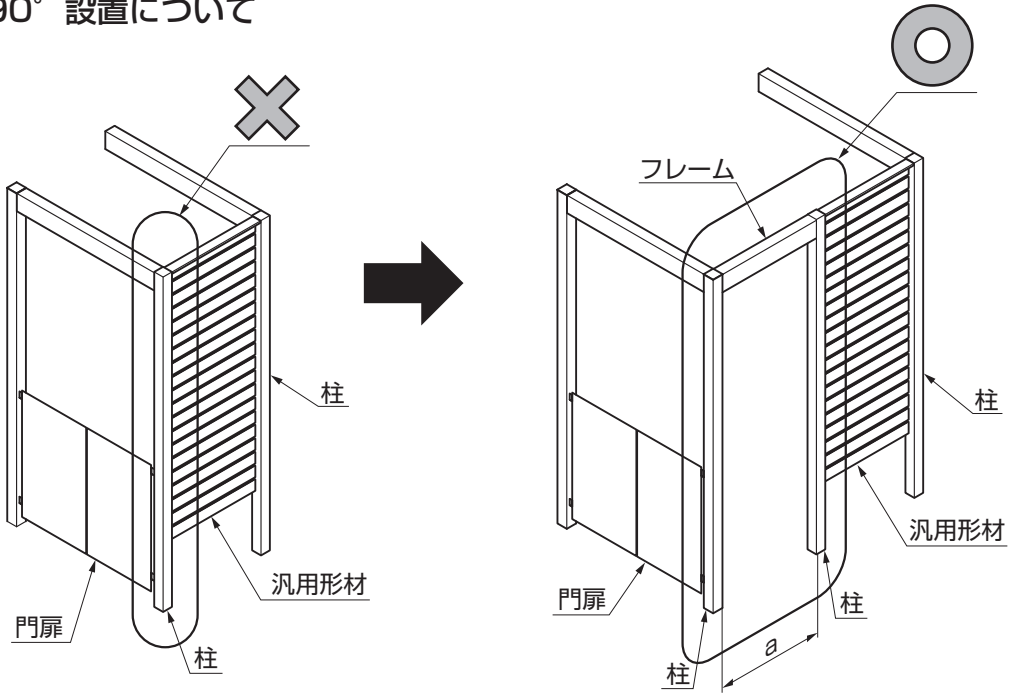


ポイント

- 躯体(住宅壁)への突当て施工はできません。住宅壁側に柱を用いて縁をきる場合は施工できます。

1. (つづき)

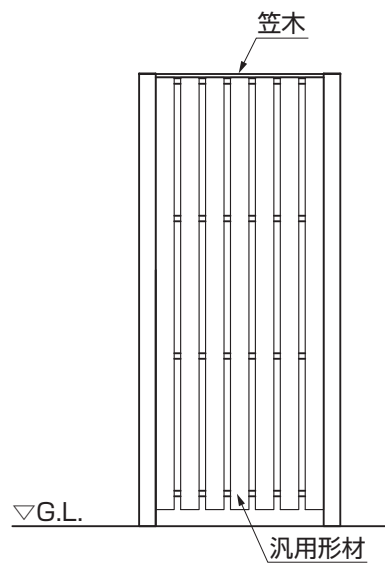
(2) 門扉への90° 設置について



ポイント

- 調整金具付き柱とのL型連結は施工できません。柱で縁を切って施工する場合はできます。
- 柱間の距離a寸法は
- ・調整金具を避ける場合は40mm以上にしてください。
 - ・ファンクション柱のポストを避ける場合は500mm程度にしてください。

(3) 笠木の取付けについて








ポイント


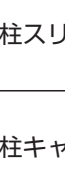
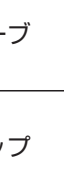



- 縦張りへの笠木の取付けはできません。

2. 梱包明細表

【1】 フリースクリーン枠 縦枠セット

名 称	略 図	員数	
		H16	H24
縦枠		2	2
縦枠カバー		2	2
端部キャップ		4	4
【1-1】 φ4×13ナベドリルネジ		14	24
【1-2】 φ4×10トラス タッピンネジ1種		4	4
取付説明書 Gスクリーン -フリースクリーン枠- 〈C383〉	-	1	1
取扱説明書 Gスクリーン 〈UC019〉	-	1	1

【2】 フリースクリーン枠 笠木セット

名 称	略 図	員数	
		W10	W20
笠木		1	1
笠木受けスリーブ		2	2
笠木受け		1	1
【2-1】 φ4×13ナベドリルネジ		4	6
【2-2】 φ4×50ナベドリルネジ		6	6
【2-3】 φ5×16ナベドリルネジ		-	2

【3】 フリースクリーン枠 横張り用中柱セット

名 称	略 図	員数	
		H16	H24
中柱		1	1
中柱カバー		1	1
中柱スリーブ		1	1
中柱キャップ		1	1
φ8×200 アンカー棒		1	1
ネジ隠しシール		1	1
【3-1】 φ4×13ナベドリルネジ		1	1
【3-2】 φ4×13サラドリルネジ		1	1

【4】 フリースクリーン枠 縦張り用横棧セット

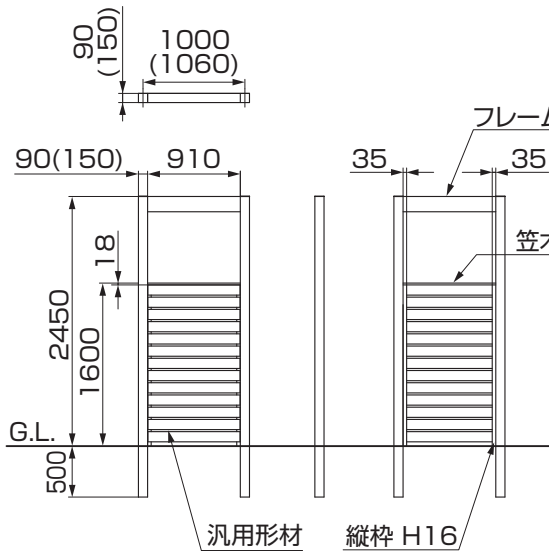
名 称	略 図	員数	
		W10	W20
横棧スリーブ		4	4
横棧		2	2
横棧カバー		2	2
ネジ隠しシール		4	4
【4-1】 φ4×13サラドリルネジ		4	4
【4-2】 φ4×50ナベドリルネジ		8	8
取付説明書 Gスクリーン -フリースクリーン枠- 〈C383〉	-	1	1
取扱説明書 Gスクリーン 〈UC019〉	-	1	1

3. 基本寸法と各部名称

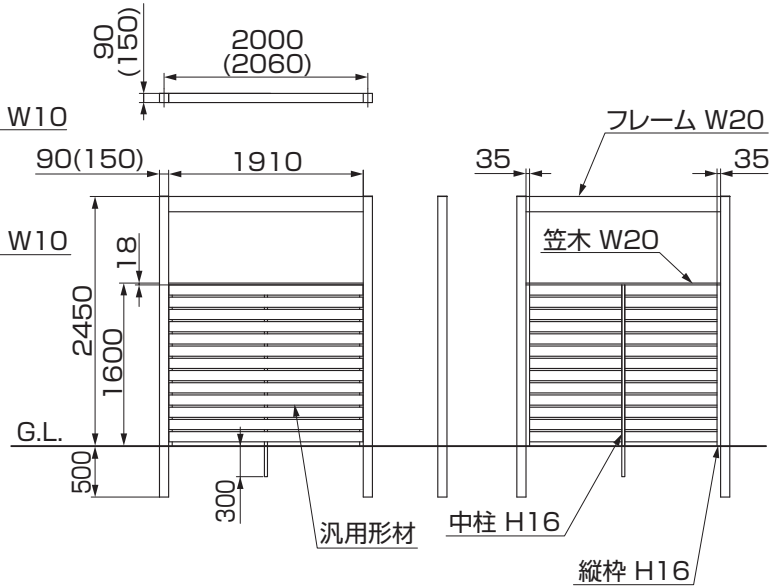
※ ()内は150角柱を使用した場合の寸法を示します。

3-1 基本寸法

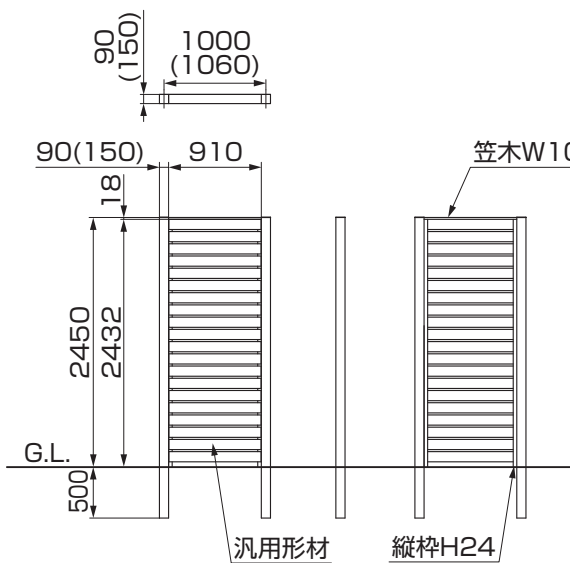
(1) 横張りW10-H16



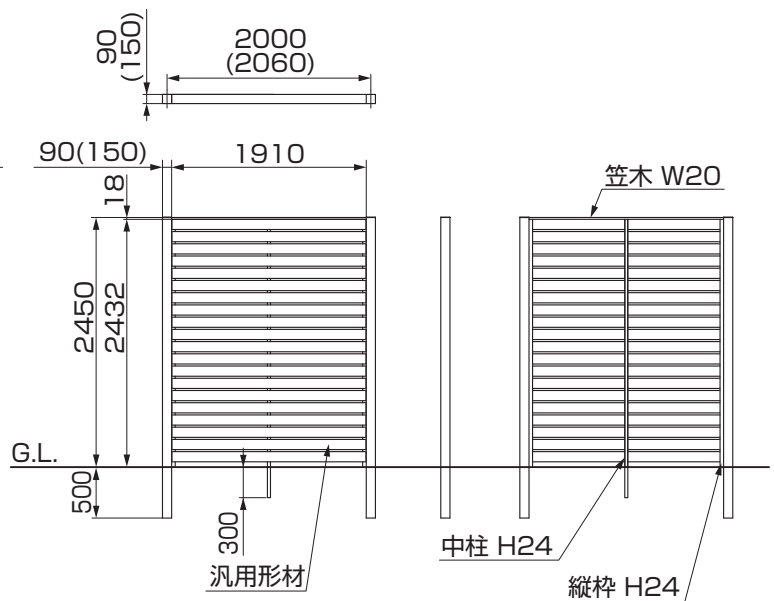
(2) 横張りW20-H16



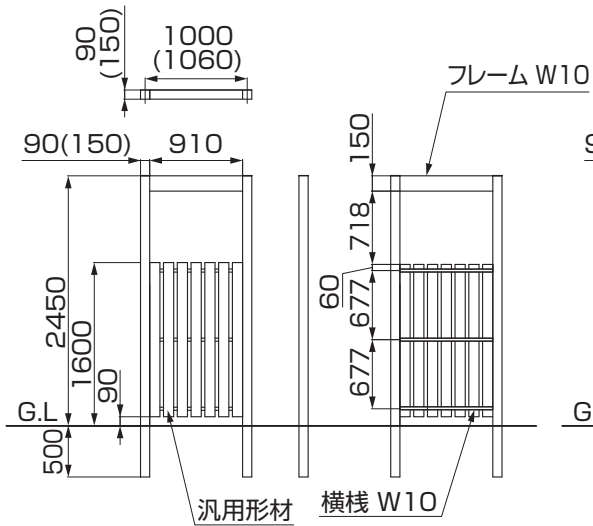
(3) 横張りW10-H24



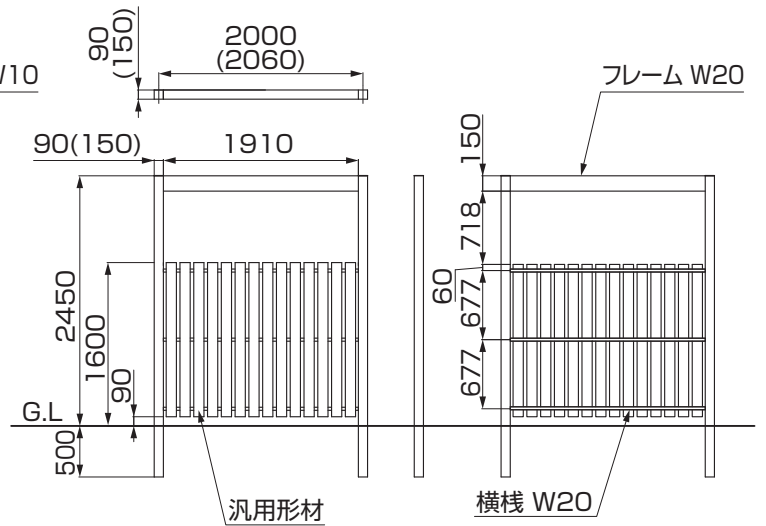
(4) 横張りW20-H24



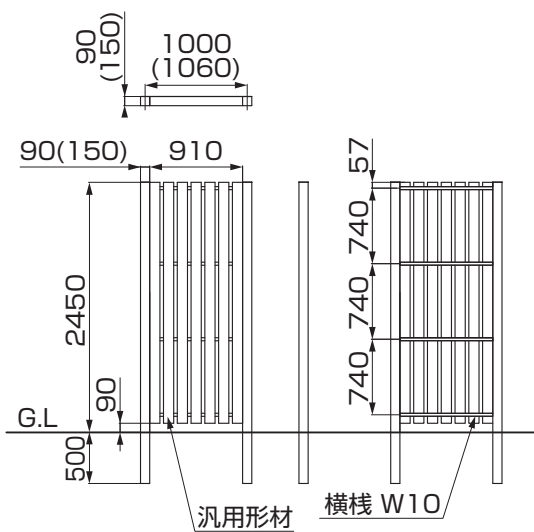
(5) 縦張りW10-H16



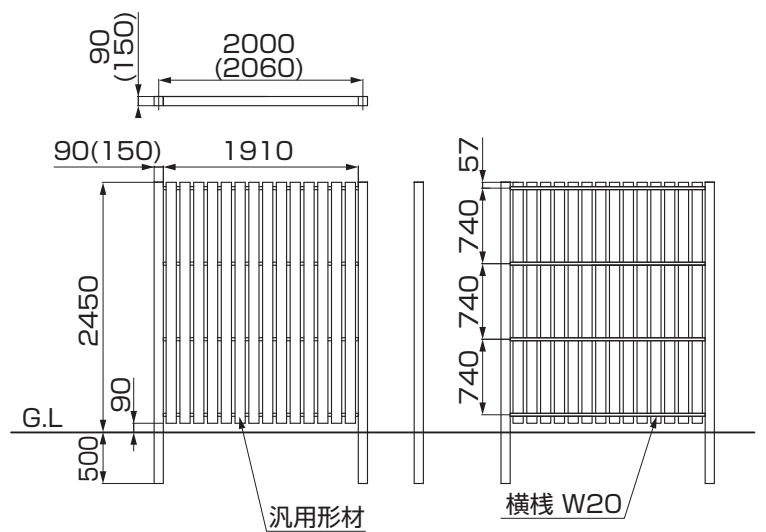
(6) 縦張りW20-H16



(7) 縦張りW10-H24



(8) 縦張りW20-H24



4. 基礎工事

※図はフレーム付け施工を示します。フレームレス施工も同様です。

※ルーフ取付けの場合は表4-1に+100mm加算してください。

※柱に門扉を吊る場合は表4-1に+100mm加算してください。

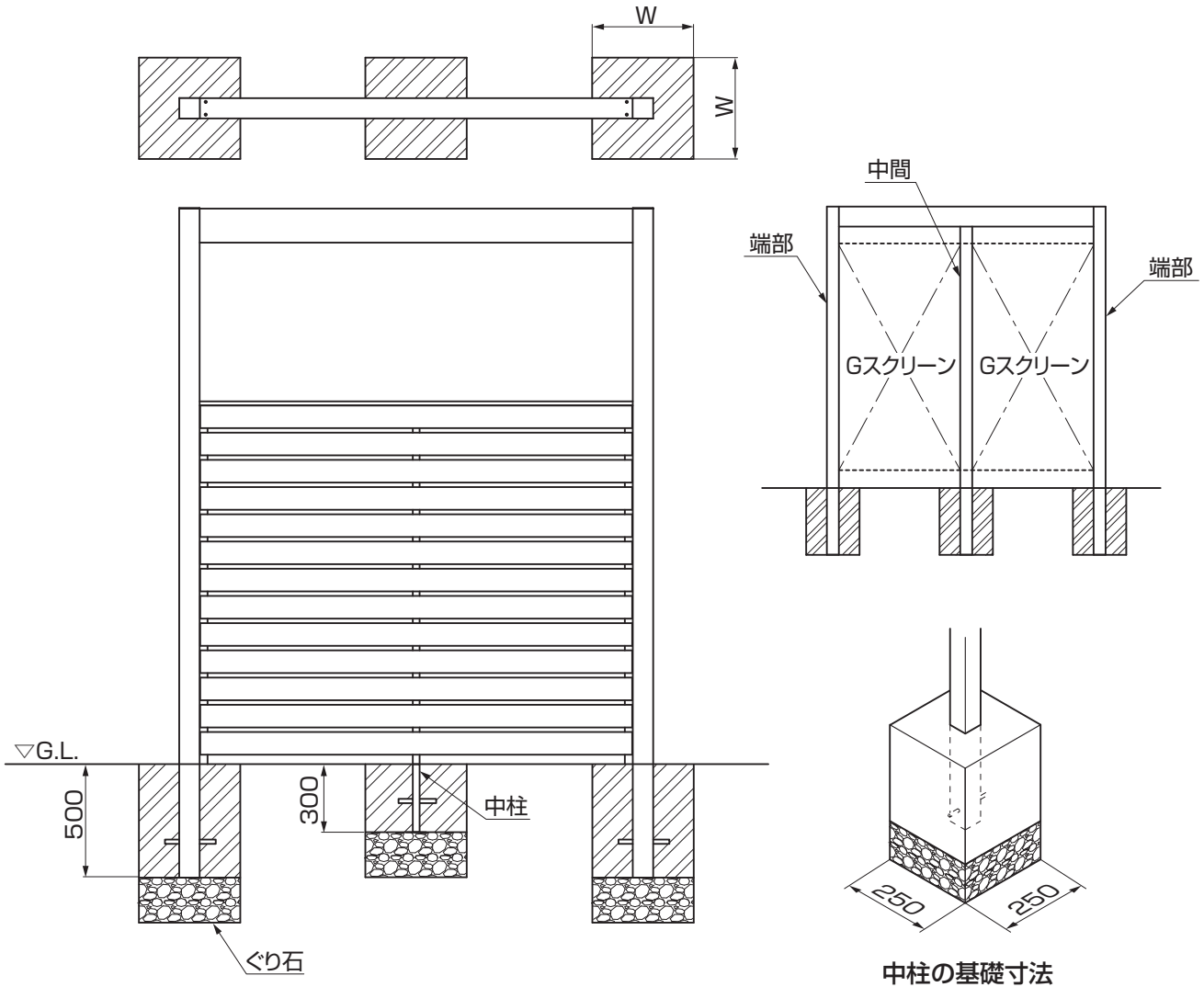


表4-1 基礎寸法表

W寸法			柱					
			H24		H29		H35 (※1)	
			端部	中間	端部	中間	端部	中間
フリー スクリーン枠	W10	H16	400	600	450	650	450	700
		H24	400	600	450	700	500	750
	W20	H16	550	800	650	900	650	950
		H24	600	850	700	1000	700	1000

ポイント

- 取付け高さはH2905以下にしてください。(※1)
- 躯体接続の場合は中間の基礎への荷重が軽減されるため、端部の基礎寸法へ変更することができます。
- 基礎寸法は、90角柱と150角柱で共通です。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

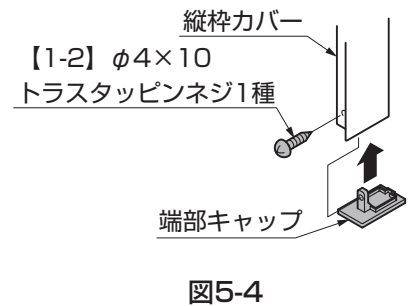
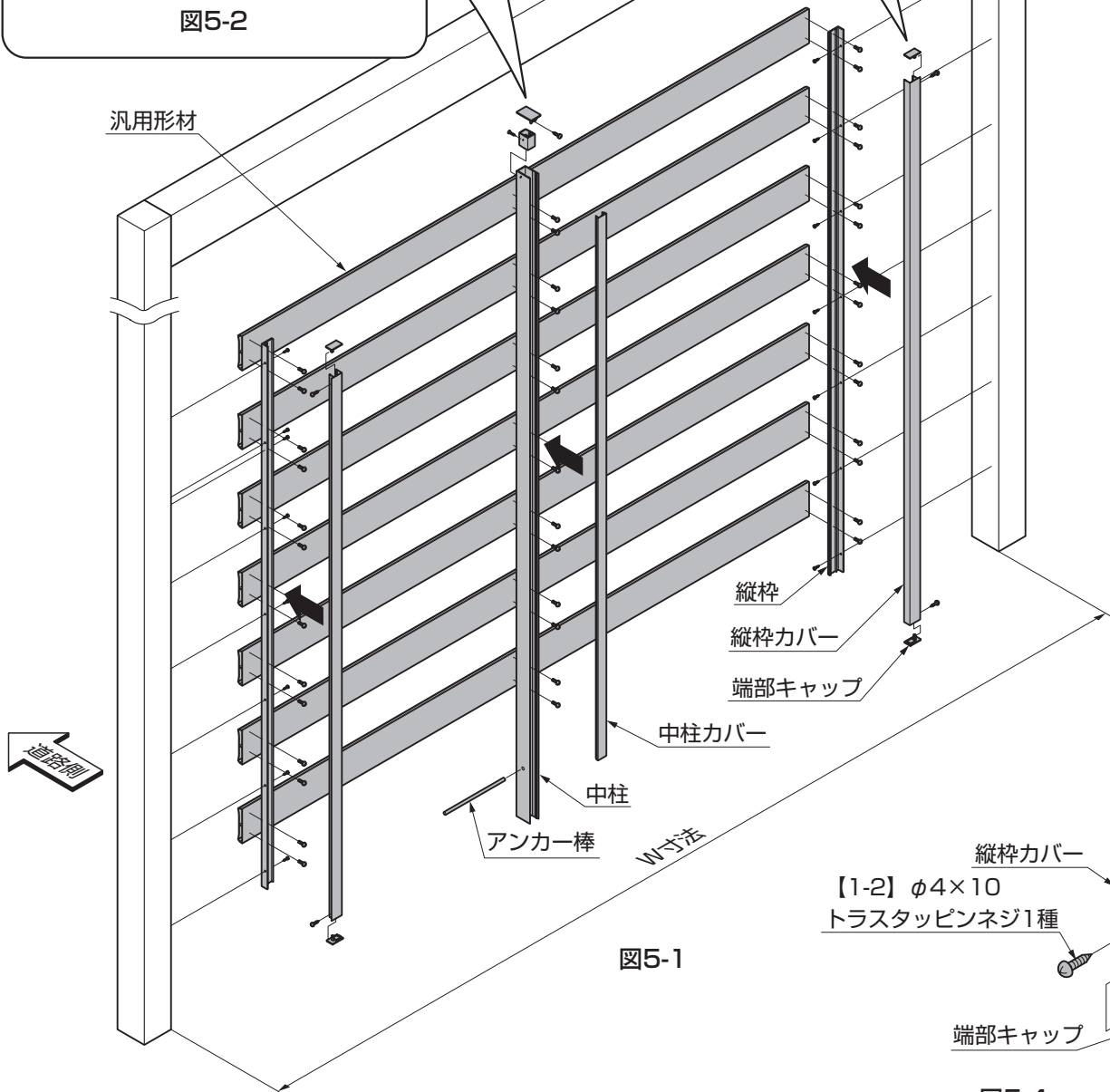
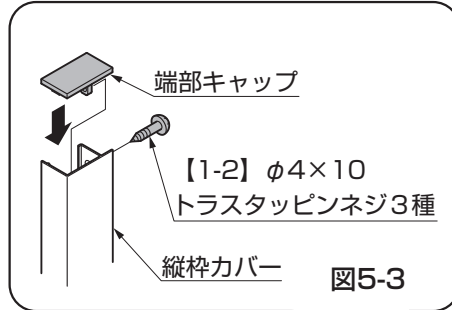
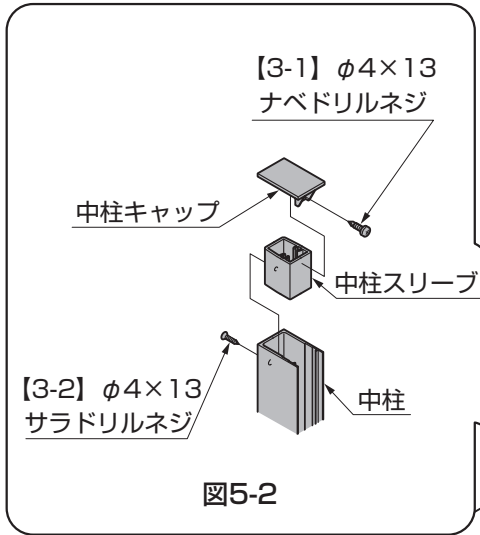
.....

5. 横張りの取付け

※ 汎用形材 リアル木調 平板を取付けた場合の説明です。
 ※ ()内は150角柱を使用した場合の寸法を示します。

5-1 笠木無しの場合

※説明内の中柱はW10を超えるの場合のみに使用します。



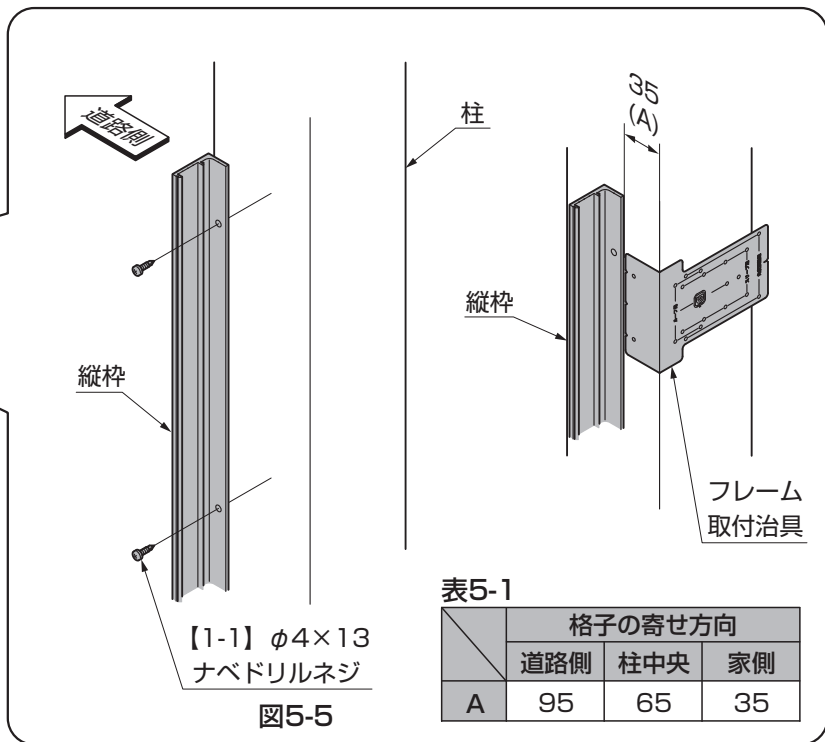


表5-1

	格子の寄せ方向		
	道路側	柱中央	家側
A	95	65	35

1. 縦枠の取付け

- ① 縦枠を【1-1】で柱に取付けてください。(図5-5参照)

ポイント

- フレーム取付治具を使うと位置出ししやすくなります。(図5-5参照)
- 150角柱を使用する場合、「表5-1」に従って()内寸法を決定し施工してください。ただし、道路寄せ及び柱中央寄せの場合はフレーム取付治具は使用できません。

2. 中柱の取付け

※W10を超える場合の作業です。

- ① 中柱スリーブを中柱に【3-2】で取付けてください。(図5-2参照)
- ② 中柱にアンカー棒を入れてください。

ポイント

- 中柱はW寸法の中心位置としてください。

3. 面材の取付け

ポイント

- 汎用形材はW寸法に合わせて加工してください。
- 加工面のバリ取りは必ず行ってください。

- ① φ5の穴を取付けピッチに合わせて、縦枠、中柱[W10を超える場合]にあけてください。(図5-6参照)
- ② 汎用形材を必要寸法に切断して、下穴φ3.4を取付けピッチにあけてください。
- ③ 汎用形材を「φ4×10トラスタッピンネジ3種」で縦枠、中柱[W10を超える場合]に取付けてください。

ポイント

- 汎用形材の下穴は縦枠、中柱に仮合わせして位置を出すとずれにくくなります。
- 汎用形材を中柱に取付けの際、中柱スリーブを避けて取付けてください。(※1)(図5-7参照)

4. カバーの取付け

- ① 端部キャップを縦枠カバーに【1-2】で取付け、縦枠にはめ込んでください。(図5-3、図5-4参照)
- ② 中柱キャップを中柱スリーブに【3-1】で取付けてください。(図5-2参照)
- ③ 中柱カバーをはめ込んでください。

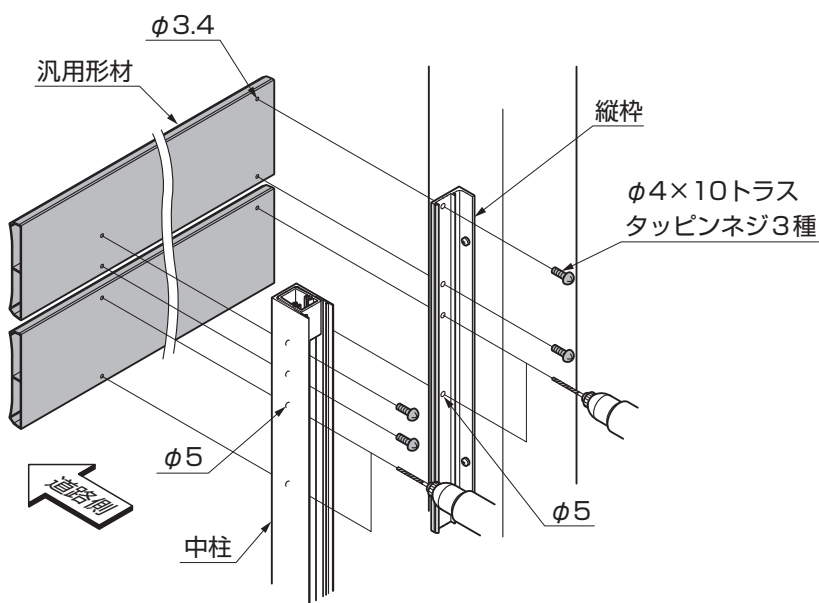


図5-6

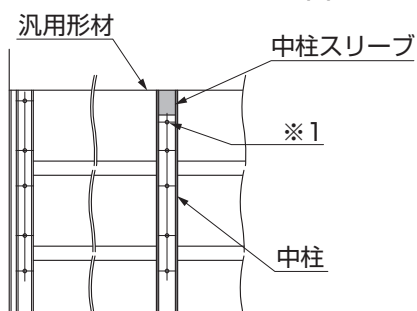


図5-7

5. (つづき) ※ ()内は150角柱を使用した場合の寸法を示します。

5-2 笠木取付けの場合 ※説明内の中柱はW10を超える場合に使用します。

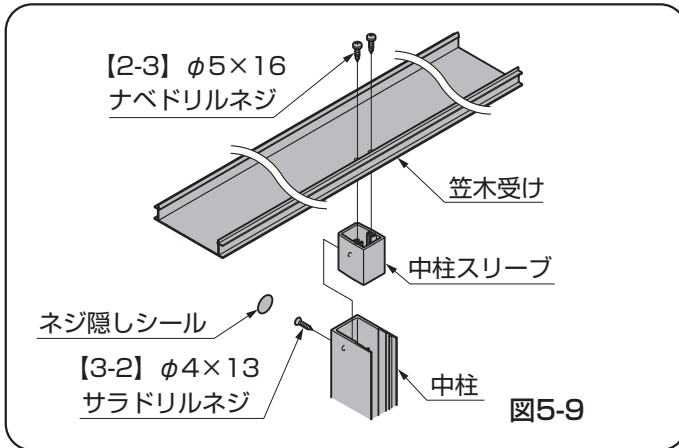


図5-9

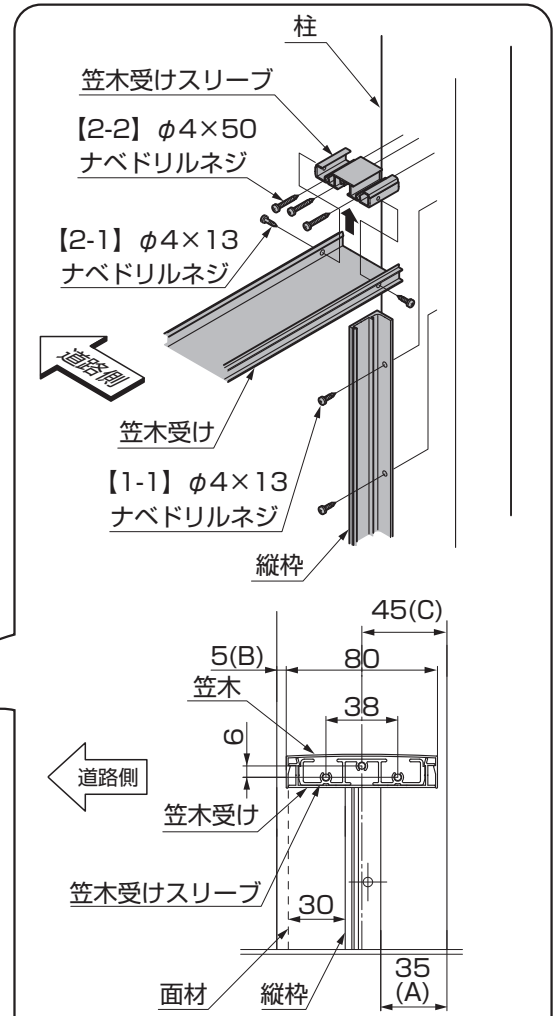


図5-12

表5-2

	格子の寄せ方向		
	道路側	柱中央	家側
A	95	65	35
B	5	35	65
C	105	75	45

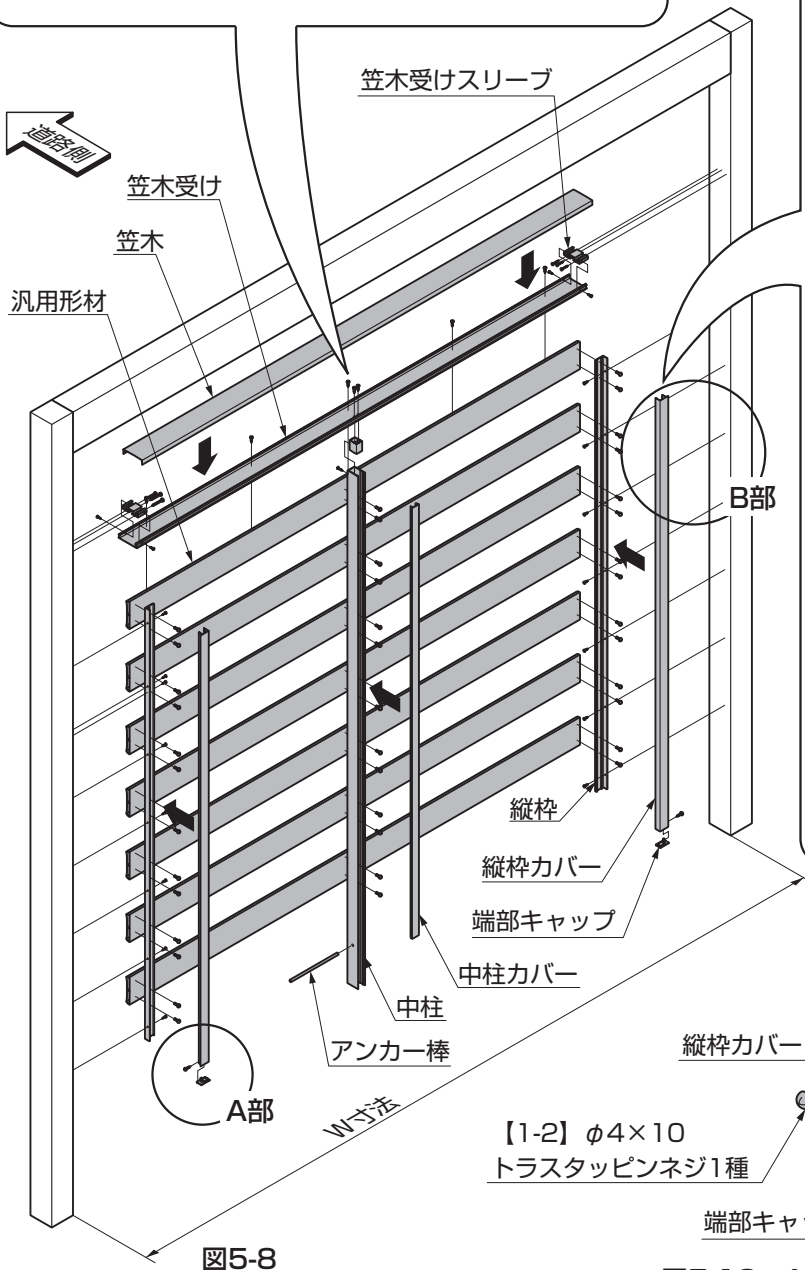


図5-8

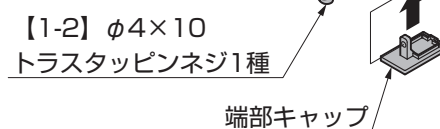


図5-10 A部取付け詳細

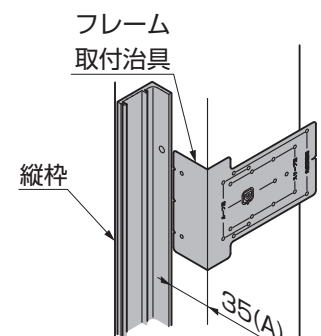


図5-11 B部取付け詳細

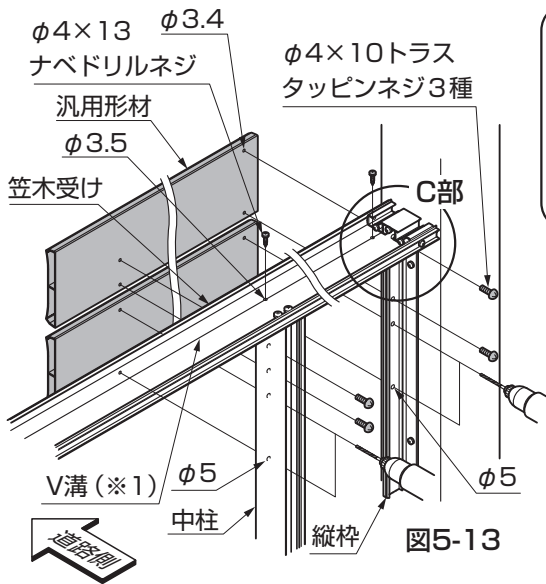


図5-13

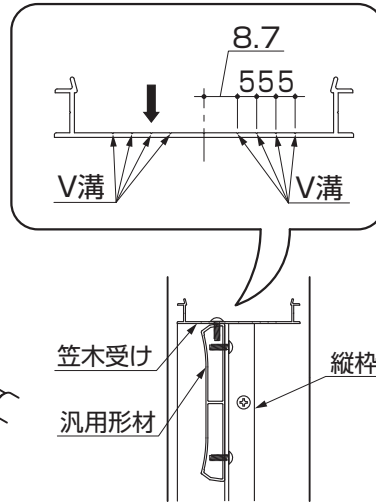


図5-14 C部詳細図

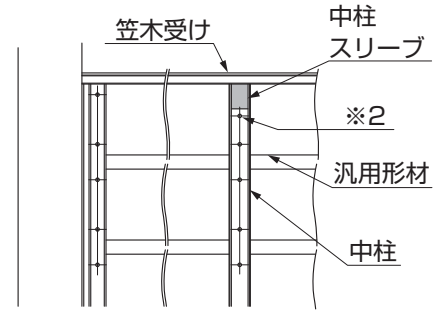


図5-17

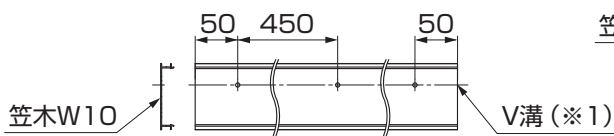


図5-15 W10の場合

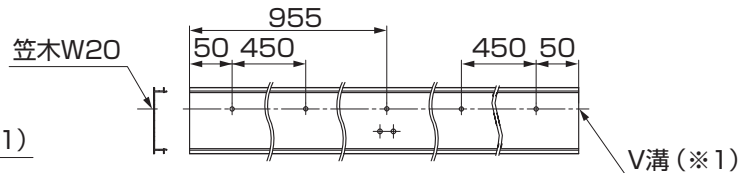


図5-16 W20の場合

1.スリーブ、笠木受け、縦椋の取付け

- ① 笠木受けスリーブを柱に【2-2】で取付けてください。(図5-12参照)
- ② 笠木受けを笠木受けスリーブにはめ込み【2-1】で取付けてください。
- ③ 縦椋を笠木受けにあて【1-1】で取付けてください。(図5-12参照)

ポイント

- フレーム取付治具を使うと位置出ししやすくなります。(図5-11参照)
- 150角柱を使用する場合、「表5-2」に従って()内寸法を決定し施工してください。ただし、道路寄せ及び柱中央寄せの場合はフレーム取付治具は使用できません。
- ①→②→③の取付け手順を守ってください。取付けられなくなります。

2.中柱の取付け ※W10を超える場合の作業です。

- ① 中柱スリーブを【3-2】で中柱に取付けてください。(図5-9参照)
- ② 中柱にアンカー棒を入れてください。
- ③ 中柱を【2-3】で笠木受けに取付けてください。(図5-9参照)

ポイント

- 中柱はW寸法の中心位置としてください。

3.面材の取付け

補足

- 図5-12の取付け位置の場合、面材厚さ30mmまで取付けできます。

3.つづき

ポイント

- 汎用形材の最上段は笠木受けに接するように取付けてください。(図5-14参照)
- 汎用形材はW寸法に合わせて加工してください。
- 加工面のバリ取りは必ず行ってください。

- ① φ5の穴を取付けピッチに合わせて、縦椋、中柱[W10を超える場合]にあけてください。
- ② 笠木受けのV溝(※1)にφ5の穴をあけてください。(図5-13、図5-14、図5-15、図5-16参照)
- ③ 汎用形材を必要寸法に切断し、取付けピッチに下穴φ3.4をあけてください。
- ④ 汎用形材を「φ4×10トラスタッピンネジ3種」で縦椋、中柱[W10を超える場合]に取付けてください。
- ⑤ 笠木受けを「φ4×13ナベドリルネジ」で汎用形材に取付けてください。

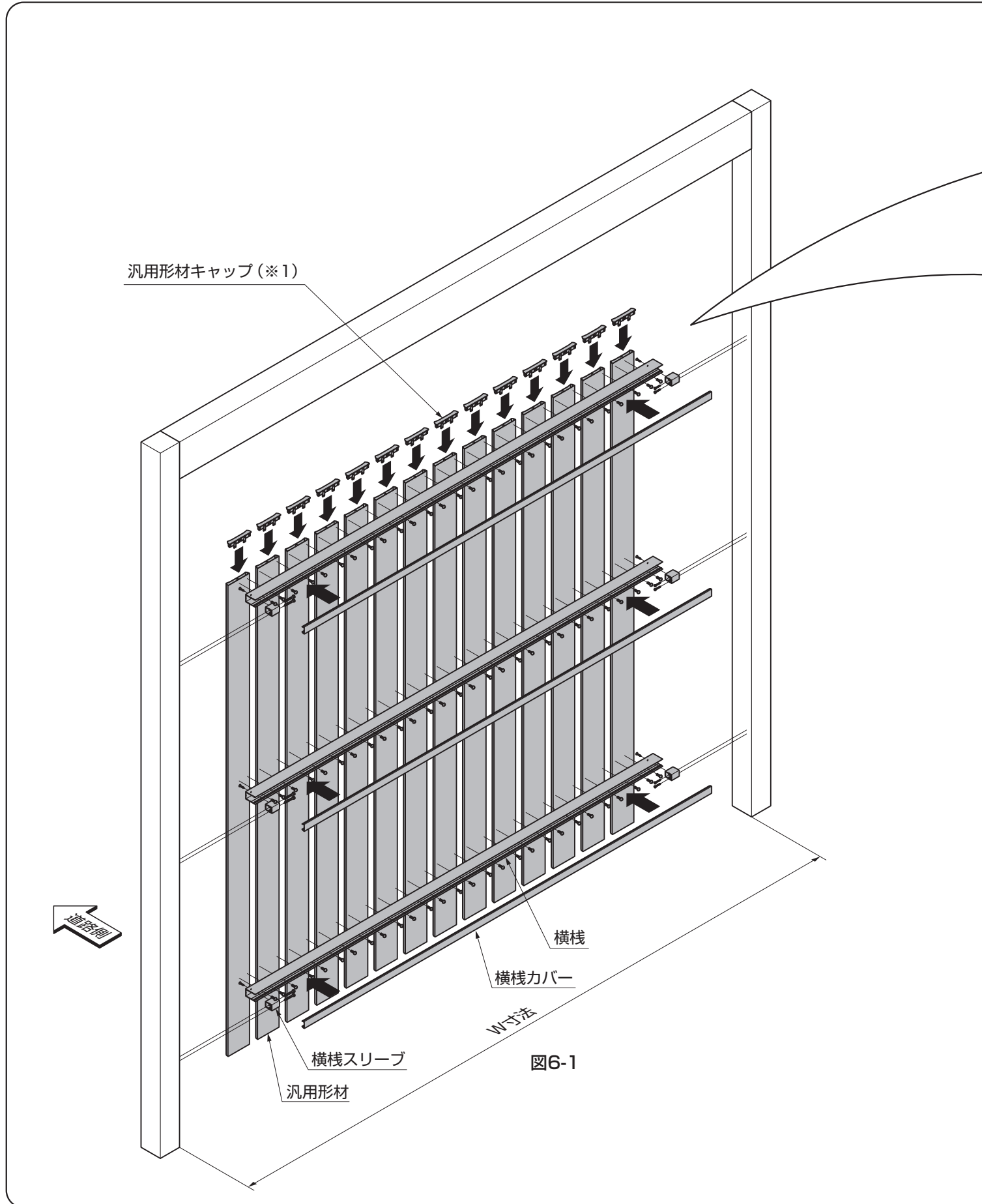
ポイント

- 汎用形材の下穴は縦椋、中柱、笠木受けに仮合わせして位置を出すとずれにくくなります。
- 汎用形材を中柱に取付けの際、中柱スリーブを避けて取付けてください。(※2) (図5-17参照)

4.笠木、カバーの取付け

- ① 端部キャップを【1-2】で縦椋カバーに取付け、縦椋にはめ込んでください。
- ② 笠木・中柱カバーをはめ込んでください。

6. 縦張りの取付け ※汎用形材 リアル木調 平板を取付けた場合の説明です。



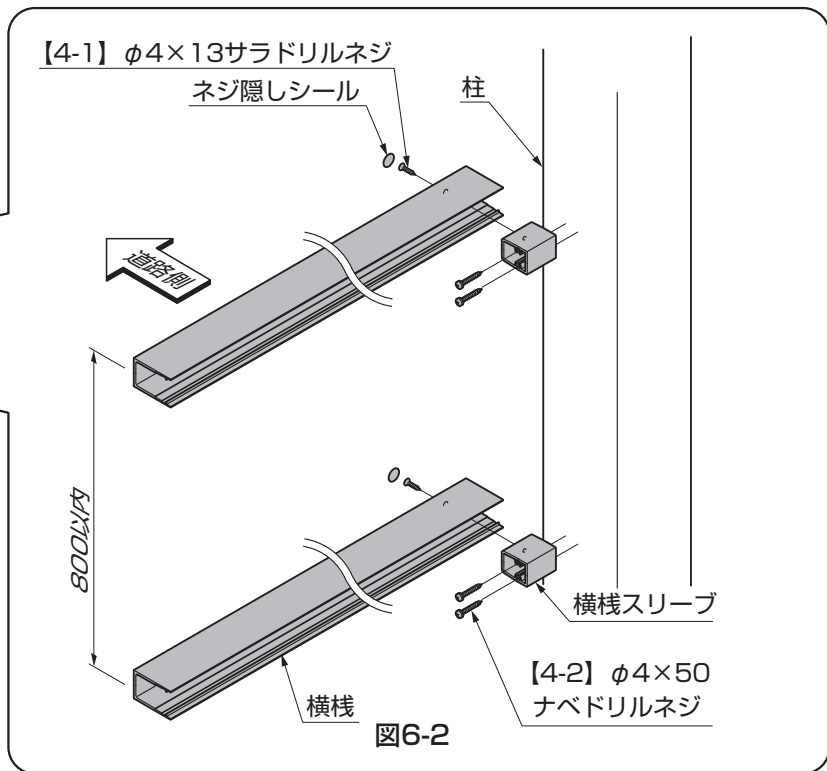


図6-2

1.スリーブ、横棧の取付け

- ①横棧スリーブを柱に【4-2】で取付けてください。(図6-2参照)
- ②横棧を横棧スリーブに【4-1】で取付けてください。

ポイント

- 横棧取付ピッチは800以内で取付けてください。

2.面材の取付け

ポイント

- 汎用形材はW寸法に合わせて加工してください。
- 加工面のバリ取りは必ず行ってください。

- ①φ5の穴を取付けピッチに合わせて、横棧にあけてください。
- ②汎用形材を必要寸法に切断して、下穴φ3.4を取付けピッチにあけてください。
- ③汎用形材を「φ4×10トラスタッピンネジ3種」で横棧に取付けてください。

ポイント

- 汎用形材の下穴は横棧に仮合わせして位置を出すとずれにくくなります。
- 汎用形材キャップ取付けは「リアル木調 平板」の場合の説明です。(※1)
- 汎用形材を横棧に取付けの際、横棧スリーブを避けて取付けてください。(※2)横棧スリーブを避けられない場合は図6-5を参考に加工してください。

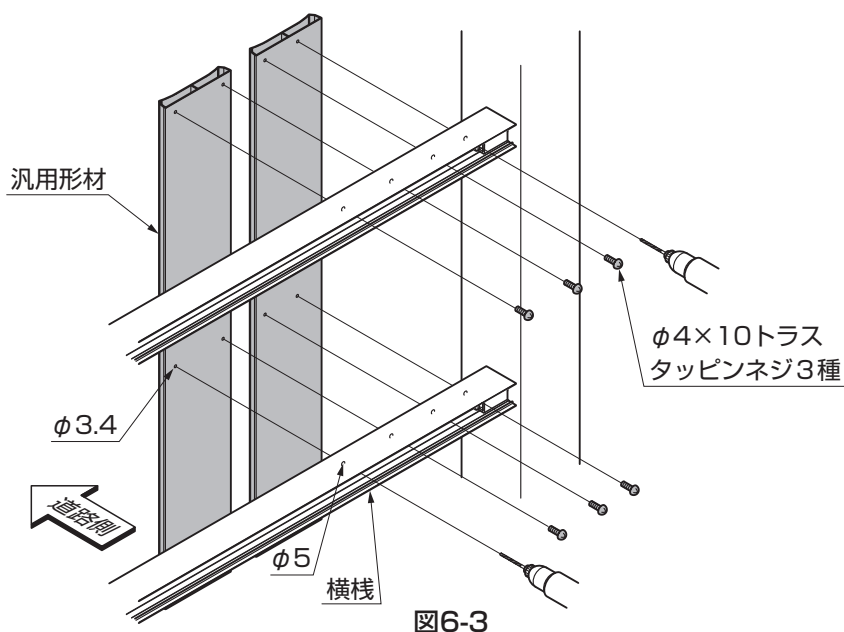


図6-3

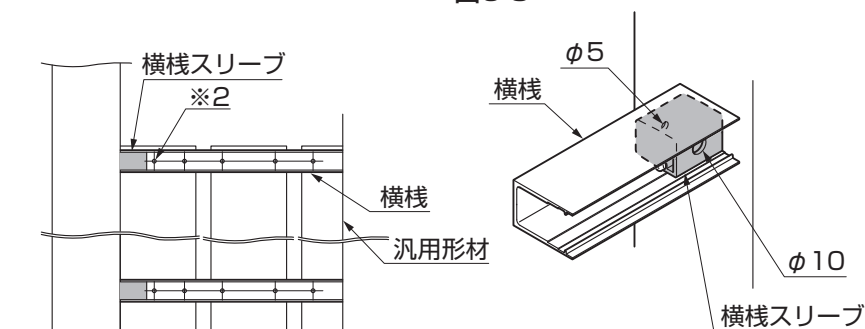


図6-4

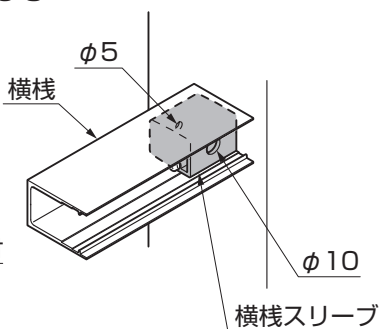


図6-5

3.カバーの取付け

- ①横棧カバーをはめ込んでください。

